

# 4 勤労者福祉

～市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

## <基本計画の目標>

勤労者が心身ともに健康で働き続けられるよう、福利厚生制度の充実に努めます。  
 レイ・ウエル鎌倉の有効活用を図ります。  
 技能奨励事業を進めます。  
 勤労者の働く環境の向上をめざします。  
 若年層や高齢層などの実態に合った雇用支援策を進めます。

## <目標指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H18	H19	H20	H21	H22年度 目標値	H27年度 目標値
レイ・ウエル鎌倉の 利用者数(+)	レイ・ウエル鎌倉のホールや会議 室等の年間利用者数の合計	53,536 人	56,793 人	58,056 人	60,987 人	<b>62,781</b> 人	75,000 人	100,000 人
正社員雇用率 (+)	市民活動課で行っている労働動 態調査の結果、市内事業者の雇 用人数のうち正社員の人数の割 合	67.1 %	59 %	50.9 %	63.1 %	<b>69.6</b> %	70 %	73 %
市民満足度	サブタイトルにあるまちの実現状 況について、市民が実感している 割合	23.3 %	18.3 %	18.1 %	25.1 %	<b>19.4</b> %	33 %	43 %

## <これまでの取組の評価～進捗と課題>

評価: ◎80%以上の成果、○50%以上の成果、△30%以上の成果、×30%以下の成果

### ・市民経済部

#### <昨年度からの課題>

勤労者の福利厚生については（社）鎌倉市勤労者福祉サービスセンターへの支援を中心に取り組んでいるが、会員数の伸びが鈍化している。また、レイ・ウエル鎌倉利用者からは、交通アクセス不便の声があるが十分な駐車場の確保が進んでいない。正社員雇用率の増については、前年度向上したものの長期的には低下傾向にある。

#### <進捗>

サービスセンター会員については、加入促進活動により新たに400人が入会したものの、景気低迷による廃業などもあり456人が退会し会員減となった。駐車場確保については新たな確保は進んでいないが、利用者の声を取り入れたサービス向上で利用人数の増を達成した。正社員雇用率は前回に引き続き向上した。

#### <課題>

サービスセンター会員については、加入促進に加え更に退会抑制のための取組の充実が必要である。レイ・ウエル鎌倉の立地上の交通不便を利用者への更なるサービス向上により既利用者の回数増や新規利用者の獲得に努める必要がある。正社員雇用率は景気の影響を受けやすいことからハローワークとの連携を図る必要がある。

担当部の評価



## <今後の展開(取組方針)>

### ・市民経済部

・勤労者の福利厚生については、引き続き（社）鎌倉市勤労者福祉サービスセンターを支援していくが、退会抑制策の充実についてサービスセンターと協議する。

・レイ・ウエル鎌倉は、今後も一層利用者の声を取り入れるなどソフト面の充実による利用者の増を図る。

・正社員雇用率の増については、就職面接会の開催や市就職相談事業のハローワーク利用者への広報充実などにより就業の機会を増やす。

# 鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



## 評価できるところ

- ・ハローワーク等との連携を課題として挙げている点は評価出来る。今後に期待したい。
- ・正社員雇用率、満足度がいずれも上昇したのは良いことである。
- ・勤労福祉は時代の変化の中でニーズも変わり、勤労福祉サービスセンター会員が減少傾向を示す中で、努力をして施策の進行を行っており十分に評価できる。



## 課題・提言

- ・国の事業の枠から外れる機会に、過去の流れにとらわれず、中小零細企業の就業者に対するケアを再構築する必要があるのではないか。メンタルケアの重要性など、役割が変わりつつある。
- ・市民満足度の低さは勿論、サービスセンター会員の動静も入会者より退会者が上回るという事態を深刻に受け止めて新しい道を模索してほしい。そのような点からも評価の◎は適当とは言えないと考える。
- ・民間業者より安価なサービスが提供されるようになっており、市が提供する必要性は低下しつつある。
- ・正社員雇用率は前回に引続き向上したと記述しているが、これについて行政が寄与したと思われる点について述べられたい。